

第3回北海道リハビリテーション支援センター研修会
パネルディスカッション

富良野地域広域支援センター 活動報告

富良野地域リハ推進会議 事務局
富良野協会病院リハビリテーション科
理学療法士 前田健太郎

富良野地域リハビリ推進会議

会長：高橋尚志（富良野医師会）

発足：平成16年11月

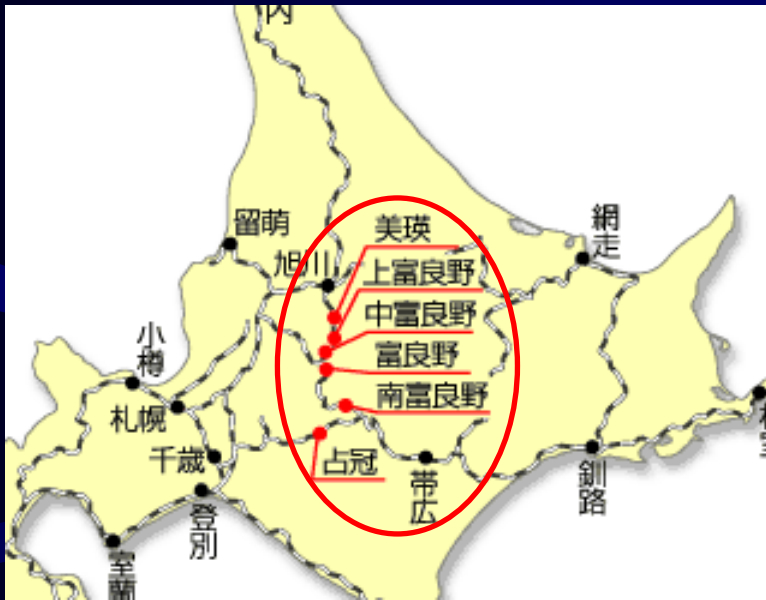
運営：

- ◆富良野協会病院（事務局病院）
- ◆ふらの西病院（協力病院）
- ◆理事会

企画・立案はPT・OT主導



富良野地域の概要



人口総数 47,990人

老年人口割合 平均22.1%

(占冠除く、2000年国勢調査より)

富良野市からの所要時間

- 上富良野町 (約20分)
- 南富良野町 (約50分)
- 占冠村 (約1時間)

富良野市を中心に
1市3町1村からなる

主なり八資源

富良野協会病院(事務局)、ふらの西病院(協力病院)、
北の峰病院、老人保健施設ふらの、
上富良野町立病院、小野沢整形外科クリニック、

赤字は富良野市内の病院・施設

- セラピスト総数: 29名
- PT13名、OT13名、ST3名
- 富良野市内に一極集中



富良野地域の課題

- リハビリ施設の一極集中化
- 地理的な問題
- マンパワーの問題
- 採算性(訪問サービス)



介護・福祉・保健分野との連携が不可欠
(通所・入所施設、訪問看護・ヘルパー、保健師 etc.)

推進会議 会則第2条(目的)

- 本会は、リハビリテーション従事者の研修等を通して富良野地域における地域リハビリテーション支援システムの整備促進を図り、高齢者、障害者が十分なサービスを受けられる体制整備を目的とする。

知識・技術
の向上

連携システム
の構築

講演・研修会事業

平成17年1月 「地域リハビリテーション総論」

平成17年3月 「低刺激環境(認知症)」

平成17年9月 「シーティング」

平成17年12月 「嚥下障害」

平成18年2月 「介護予防」

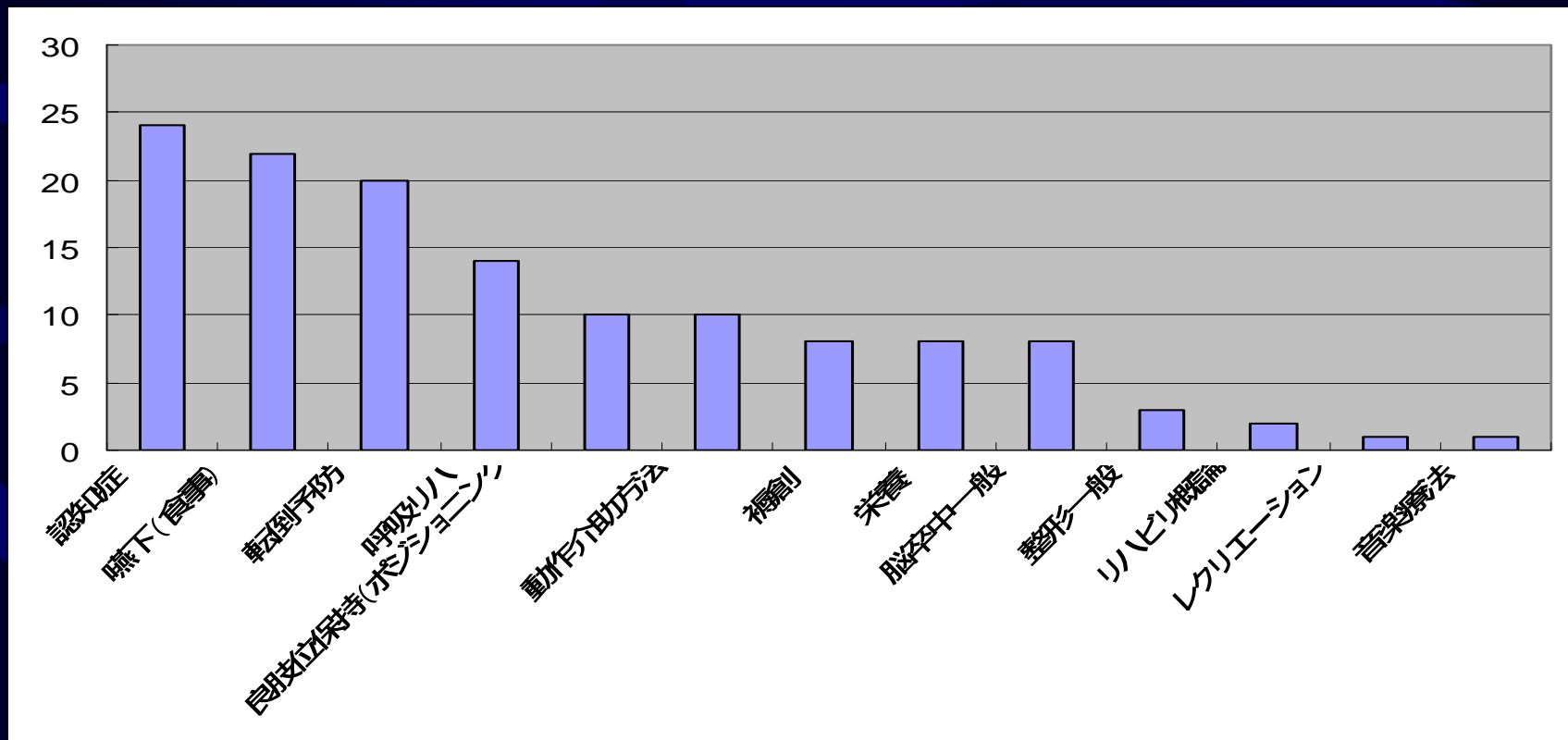


「第1回維持期リハビリテーションを考える会」

平成17年4月 参加者50名 富良野協会病院

内容 「リハビリテーションへの期待・要望」

(グループ討論会)



地域のニーズを把握し、研修会を企画。
講師役はできる限り自給自足した。

過去5回の平均参加人数 72.8名

「満足だった」と答えた人 76%
(過去3回の研修会アンケートより)



講演・講義のみ

満足度高い傾向

実技・実演

各グループ毎に意見交換

今後の課題

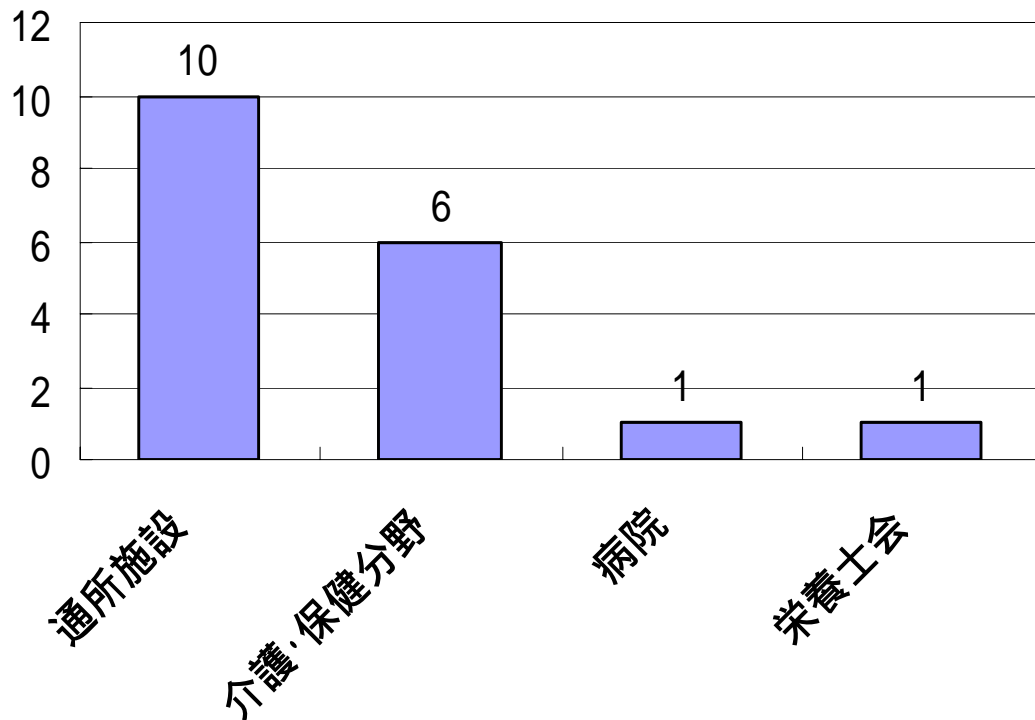
実技研修

討論の場
(症例検討会)

医療分野
(急性期)

講師派遣事業(講師バンク)

全18回の派遣実績(内訳)



職種内訳

PT:13回

OT:4回

ST:2回

(複数講師含む)

特徴

- ◇介護分野からのニーズが高い。
- ◇1施設が繰り返し利用するケースもある。
- ◇特定の講師に依頼が集中。

経験豊富な人材が足りない

人材(講師)育成が課題！！

物品レンタル事業

- リハビリ物品の貸出
- 各種教材用ビデオも用意



使用例

- 介護予防事業のトレーニング場面
- デイサービスなどの施設でのトレーニング場面
- 訪問看護などでの体操指導
- 勉強会などでの知識向上

研修会や講師派遣事業の教材としての利用

期間

リハビリ物品:3ヶ月

ビデオ:1ヶ月



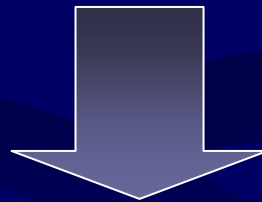
物品

- ・重り(重錘) 1kg、2kg
- ・セラバンド(抵抗チューブ)
黄色(弱)、緑色(中)、黒色(強)
- ・バランスパッド
- ・ビデオ各種



結果

- 現在まで5施設が利用している。
当初の予定よりも少なく、宣伝不足か？



「使用マニュアル」の作成・配布
講習会の開催

POS合同勉強会

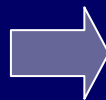
知識・技術の向上
共通認識、共通言語



推進会議運営に関する連絡や相談も行われる。

勉強会(シーティング)

各施設でシーティングを実際に開始。数名の事例をだし経過を追う



シーティングの研修では各グループにリーダー役としてセラピストが入り、全員が講師として活躍

リーフレット(現在作成中)

座るってどういうこと?

きれいに座って明るく楽しい『生活』を!

富良野版

【富良野地域リハビリテーション協議会】

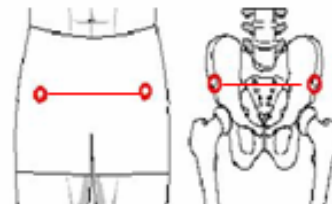


FURANO
REGIONAL REHABILITATION PROMOTION CONFERENCE

正しい骨盤位置



正しい骨盤位置の探し方



赤丸で記されている上前腸骨棘を触り、横にまっすぐ一直線であれば、正しい骨盤位置といえます。

この正しい骨盤位置により、背骨もまっすぐになり、安楽で密着する姿勢へと変化していくのです。



車椅子の座面のたるみや、柔らかさ、背もたれのたるみ等により、仙骨座りや斜め座りへと姿勢が崩れやすくなります。この姿勢が持続することにより、褥瘡の危険性や褥瘡治療の危険性、変形などへと進行していく可能性があります。



我々はきれいな座りとは何か?を考えました!

まとめ

- 富良野地域の事業内容について、独自の活動も含めて紹介した。
- 協力病院とセラピスト数が少ないため、運営サイドにかかる負担も大きい。
- フットワークの軽さが利点であり、POS勉強会も大きな成果を残している。
- 今後は医療(急性期)分野に対する支援や各事業の課題に対しても取り組んでいく。

合同視察研修

